

# 聾学校地域支援だより



## サマースクール2022開催



親の会では、7月26日、聾学校の通級指導教室を利用していた飯塚俊幸さんをお迎えし、講演をしていただきました。講演後には、保護者や生徒からの質問にも答えていただき、充実した時間を過ごすことができました。



最初に、「聞き取ることが難しいことから、口の動きや推測で話を聞いている。」とご自身の聞こえについて話してくださいました。

次に、飯塚さんが学生時代に感じたことをとても詳しくお話ししてくださいました。

**小学生時代：**低学年では聞こえにくいことに自覚がなかった。高学年になると自分の難聴が特別だと認識するようになった。自信が無くなり、おとなしい性格になった。

**中学生時代：**いじめられたくないという気持ちがあった。「聞こえなくても、嫌われないようにするために聞き返さない。バカにされないように、成績を良くする。」など障がいを過剰に意識することで自分の殻に閉じこもった時期だった。中学校卒業前に自分のことを理解してくれる友達ができた。

**高校生時代：**たくさん友達を作りたいと、たくさん話しかけて、何度も聞き返した。いつしか「え？なんて？」という聞き返しがギャグに変わり、たくさんの友達ができた。障がいをポジティブに捉えるきっかけになったことや障がいがないかのように接してくれた家族の存在が大きかった。

**大学生時代：**友人にも恵まれ、有意義な大学生活を送っていた。さまざまなアルバイトも経験した。その中で障がい者というレッテルを貼られてしまったようなこともあった。経験をとおして、社会に対する問題意識をもつようになり、卒業後は障がい者雇用支援の会社に就職した。

ご自身の経験を、そのときの気持ちとともにお話ししてくださいました。きっと通級や教育相談を利用するみなさんにも当てはまることがあるのではないのでしょうか。

そして、今では「自分らしさが寛容に認められる社会の実現」に向けて独立し、活動されているそうです。

最後に飯塚さんは、「自分が前向きに生きることができた理由」として、家族や先生、友人、上司などの出会った人みんなが助けてくれたことを話してくださいました。



## 講演の感想

共感出来るところがいくつかあり、将来の自信に繋がりました。入学して4ヶ月ですが、受験に向けて頑張りたいと思います！【生徒】

実際に悩んだり経験した話を聞いてとても参考になったし、反抗期で悩んだりしていたけれどもう一度子供ときちんと向き合っていきたいと思いました。【保護者】

講演会では子ども時代に色々悩み抜いて行動をし、良い出会いや支えで人生が開けた経験を聞いて、親としてはこれから、似たような経験をするかもしれないと思うと、胸が痛みますが、良い支えになれるよう努力したいと思いました。また、会場にいた中学生のリアルな悩みが聞けたのも、貴重でした。子ども同士の意見交換や悩み解決の糸口が見つけられる会もあれば、お互い支えになるのかと思いました。ありがとうございました。

【保護者】

## サマースクール〈集団遊びの様子〉

小学生は、「グランドゴルフ」で遊びました！活動の様子です！



## 通級巡回指導場所紹介① 館林市立第三小学校ことばの指導教室

館林市立第三小学校ことばの指導教室は、三小本校から離れた城沼のほとりにあります。城沼の向こうにはつつじが岡公園が見えます。

ことばの指導教室には、9つの指導室、待合室、教材室、多目的室、検査室、職員室があり、館林市内の小学生82名、幼児さん37名（9月現在）が通っています。

わたしたちは、聴力測定ができる検査室をお借りして、通級指導を行っています。小学生1名、中学生1名が聾学校の通級指導を利用しています。

